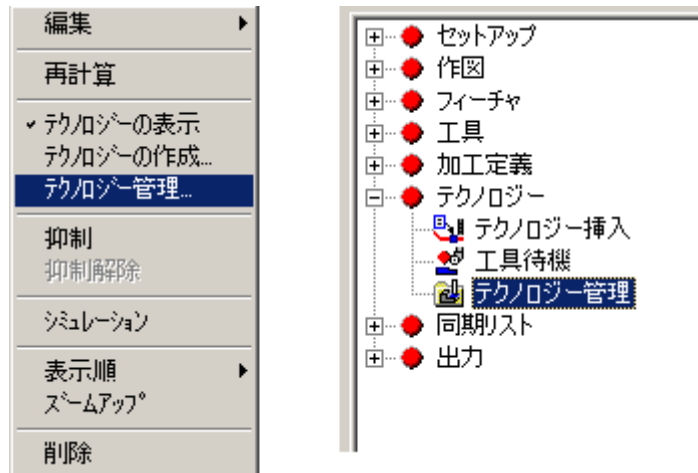


4 6 . テクノロジー管理

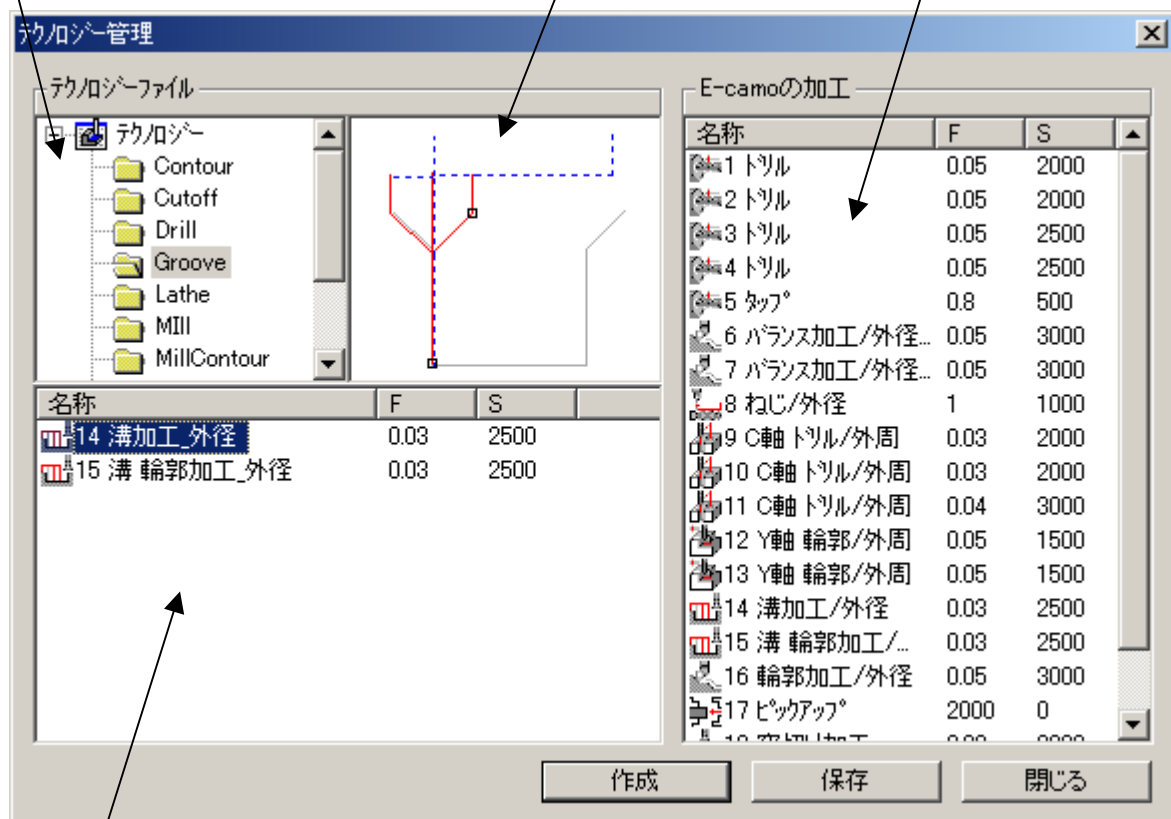
加工定義の保存や、既に保存されているファイルからの加工定義の作成を行います。プロジェクトマネージャの[テクノロジー管理]メニューや、「操作」タブの [テクノロジー管理] アイコンを選択するとテクノロジー管理ダイアログが表示されます。



フォルダウィンドウ

工具パスウィンドウ

加工定義ウィンドウ

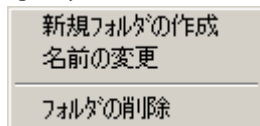


ファイルウィンドウ

1. 基本操作

フォルダウィンドウのフォルダアイコンをクリックすると、そのフォルダに保存されているテクノロジーファイルの一覧がファイルウィンドウに表示されます。加工定義ウィンドウには e-cmao で作成された加工定義の一覧が表示されます。テクノロジー管理ダイアログの基本的な操作は、次のようなメニューで行います。ダイアログ内でマウス右ボタンをクリックすると、クリックする場所によって、表示されるメニューが異なります。

1) フォルダアイコン上で右ボタンをクリック（フォルダウィンドウ）



[新規フォルダの作成]

選択されたフォルダ（このメニューが開かれたフォルダ）の下に新しいフォルダを作成します。

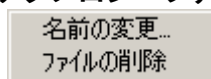
[名前の変更]

選択されたフォルダの名前を変更します。

[フォルダの削除]

選択されたフォルダを削除します。但し、このフォルダ内にファイルが残っている場合は削除できません。

2) 「テクノロジーファイル」アイコン上で右ボタンクリック（ファイルウィンドウ）



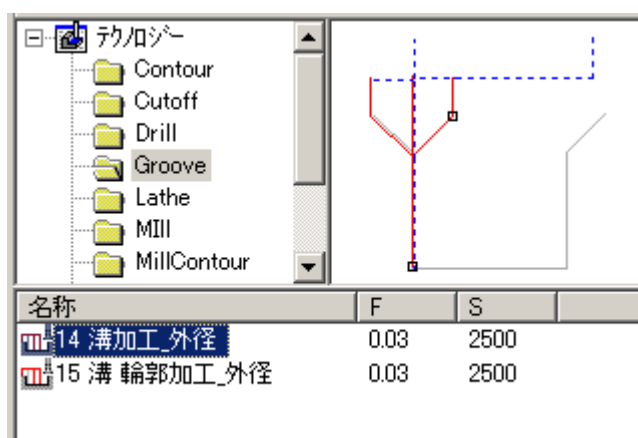
[名前の変更]

ファイルの名前を変更します。

[ファイルの削除]

選択されたファイルを削除します。

テクノロジーファイルアイコンを選択した時、工具パスウィンドウに、その工具パスが表示されます。



ここで、青点線は早送りを、赤線は切削送りを、黒矩形はテクノロジー挿入を、灰色線はフィーチャを示しています。

2. テクノロジーファイルの保存

テクノロジーファイルの保存は次の手順で行います。

- 1) フォルダウィンドウで保存先のフォルダをクリックします。
- 2) 加工定義ウィンドウで保存する一つ、または、複数の加工定義を選択します。
- 3) **[保存]** ボタンを押します。または、加工定義ウィンドウからファイルウィンドウへアイコンをドラッグします。

この時、保存先のフォルダに、保存する加工定義と同じ名前のファイルがある場合、**名称設定ダイアログ**が表示され、ファイルの名前の変更を求められます。

3. 加工定義の作成

保存されたテクノロジーファイルから、新たに加工定義を作成することが出来ます。加工定義の作成は次の手順で行います。

- 1) フォルダウィンドウで読み込むファイルが保存されているフォルダのアイコンをクリックします。
- 2) ファイルウィンドウで読み込むファイルを一つ選択します。
- 3) **[作成]** ボタンを押すと**加工作成ダイアログ**が表示されます。



- 名称** : 加工定義の名称を設定します。
- 工具ID** : 加工定義に使用する工具を選択します。
- フィーチャ** : 加工定義に使用するフィーチャを選択します。 ボタンをクリックした後、e-camo上のフィーチャをクリックすると、そのフィーチャの番号が表示されます。ここでフィーチャを選択しなかった時には、テクノロジーファイルに保存されているフィーチャを自動的に作成します。
- 加工径** : 荒加工、溝加工、突っ切り加工の時に加工径を設定します。

- 4) **[OK]** ボタンを押すと加工定義の作成が始まります。この時、画面上で任意のダイアログボックスが自動的に表示されたり、閉じられたりしますが、これらの処理が終わるまで、マウスやキーボードには触らないようにして下さい。

ヒント： テクノロジーファイルには、加工定義の情報の他に、フィーチャ、テクノロジー挿入、作業平面などの情報も保存されています。そのため、**加工作成ダイアログ**で工具を選択するだけで、これら全てを自動的に作成することが出来ます。但し、加工部位の形状、場所等がテクノロジーファイルの情報と異なる場合には、新たにフィーチャを作成し、**加工作成ダイアログ**でそのフィーチャを選択するようにして下さい。